

# 写 真 图 版





崩り遺跡空中写真(遠景)

図版 2



崩り遺跡空中写真(南側)



土層断面(中央部 A-A')



土層断面(中央部 B-B')



土層断面(北側 E-E')



土層断面清掃作業風景



崩り遺跡南側 竪穴状遺構集中箇所空中写真



SH01 石器出土状況



SH01 ベルト残完掘状況



SH04・SH27 検出状況



SH04(左)・SH27(右)完掘状況

図版 4



SH05 焼土面断面確認状況



SH05 完掘状況



SH08(右)・SH09(左)ベルト残完掘状況



SH10 完掘状況



SH11・SH12 調査風景



SH11 土器出土状況



SH11(手前)SH12(奥)完掘状況



SH13 検出状況



SH13 遺物残完掘状況



SH16 ~ SH21 完掘状況



SH24(右)・SH25(左)焼土面確認状況



竪穴状遺構調査風景



竪穴状遺構集中箇所遠景



SK10 焼土面確認状況



SK14 断面確認状況

図版 6



崩り遺跡空中写真(中央部)



SB31 完掘状況



畝状遺構遠景



焼土跡 01 半裁断面確認状況



焼土跡 04 半裁断面確認状況





土坑墓 1号(手前)・2号(奥)



土坑墓 2号副葬品出土状況



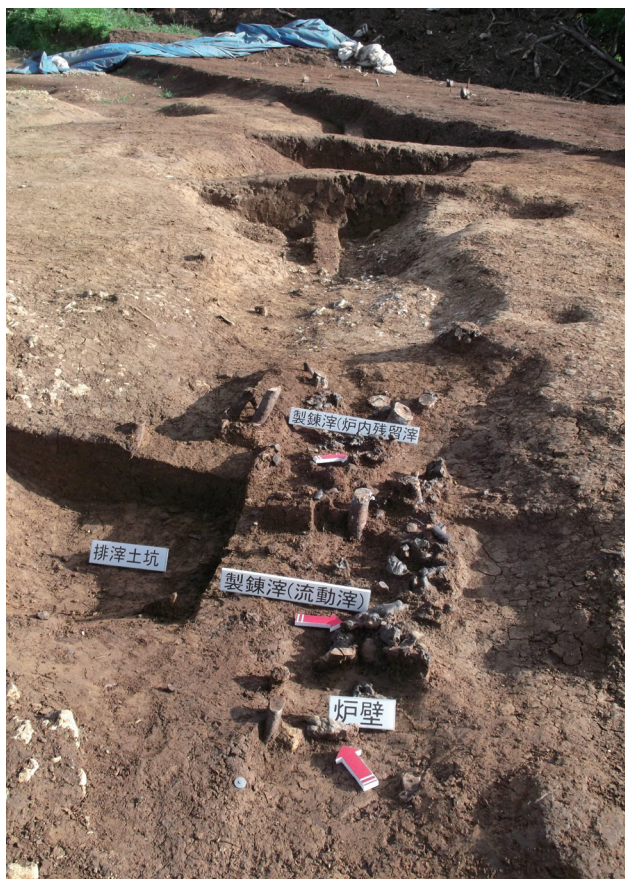
土坑墓 1号副葬品出土状況



竹中正巳氏指導風景



SD17(製鉄関連遺構)鉄滓出土状況



SD17(製鉄関連遺構)盛土保存前状況

図版 8



製鉄関連遺構空中写真(SD17・SK32)



SK32(製鉄関連遺構)鉄滓出土状況



製鉄関連遺構調査風景



村上恭通氏・大澤正己氏による製鉄関連遺構実見風景



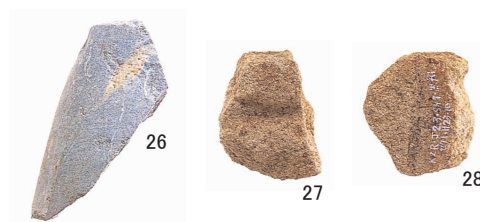
平成 23 年度発掘調査作業員



SH01 出土遺物

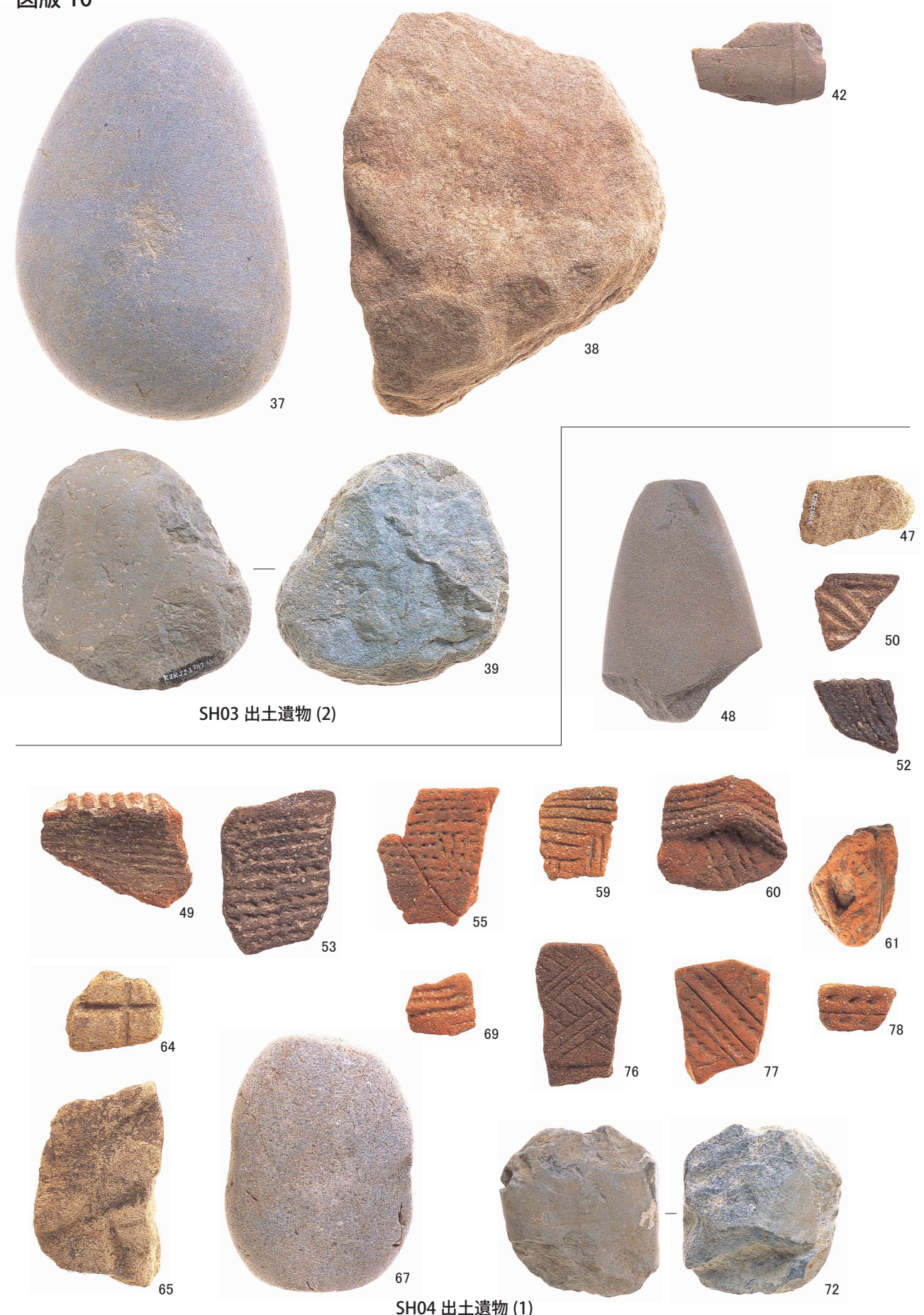


SH02 出土遺物



SH03 出土遺物 (1)

图版 10

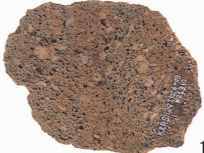


SH03 出土遺物 (2)

SH04 出土遺物 (1)

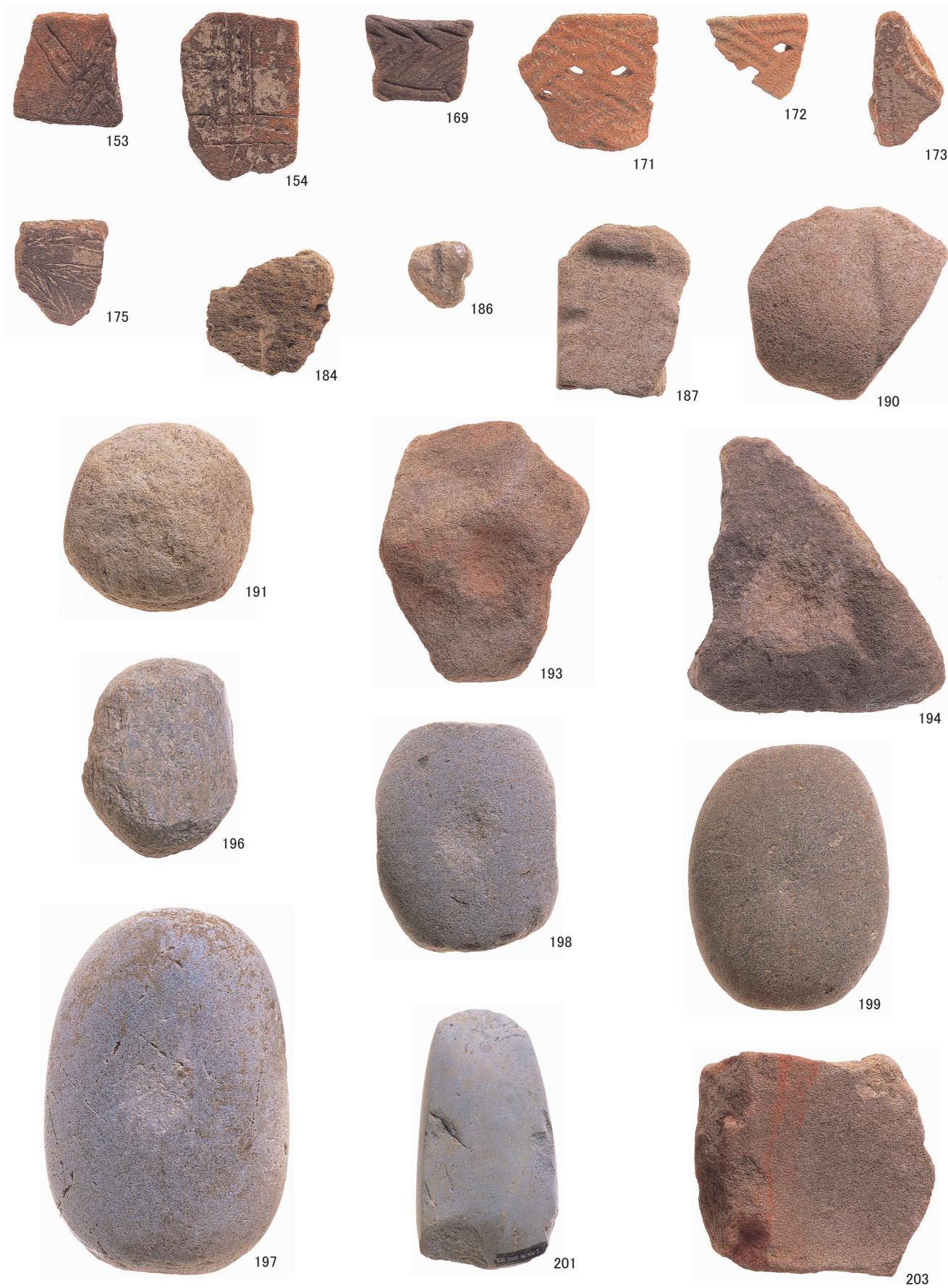


SH04 出土遺物 (2)



SH05 出土遺物 (1)

图版 12



SH05 出土遺物 (2)



SH06 出土遺物



SH07 出土遺物

SH06·07 出土遺物

图版 14



230

SH08 出土遺物



233

SH08·09 出土遺物



235



238



237



239



241



242



240



244



245

SH10 出土遺物



255



248



249



252



253



251

SH11 出土遺物





264



267



275



287



289



265



276



290



291



292



295



296



297



304



309



310



307



310

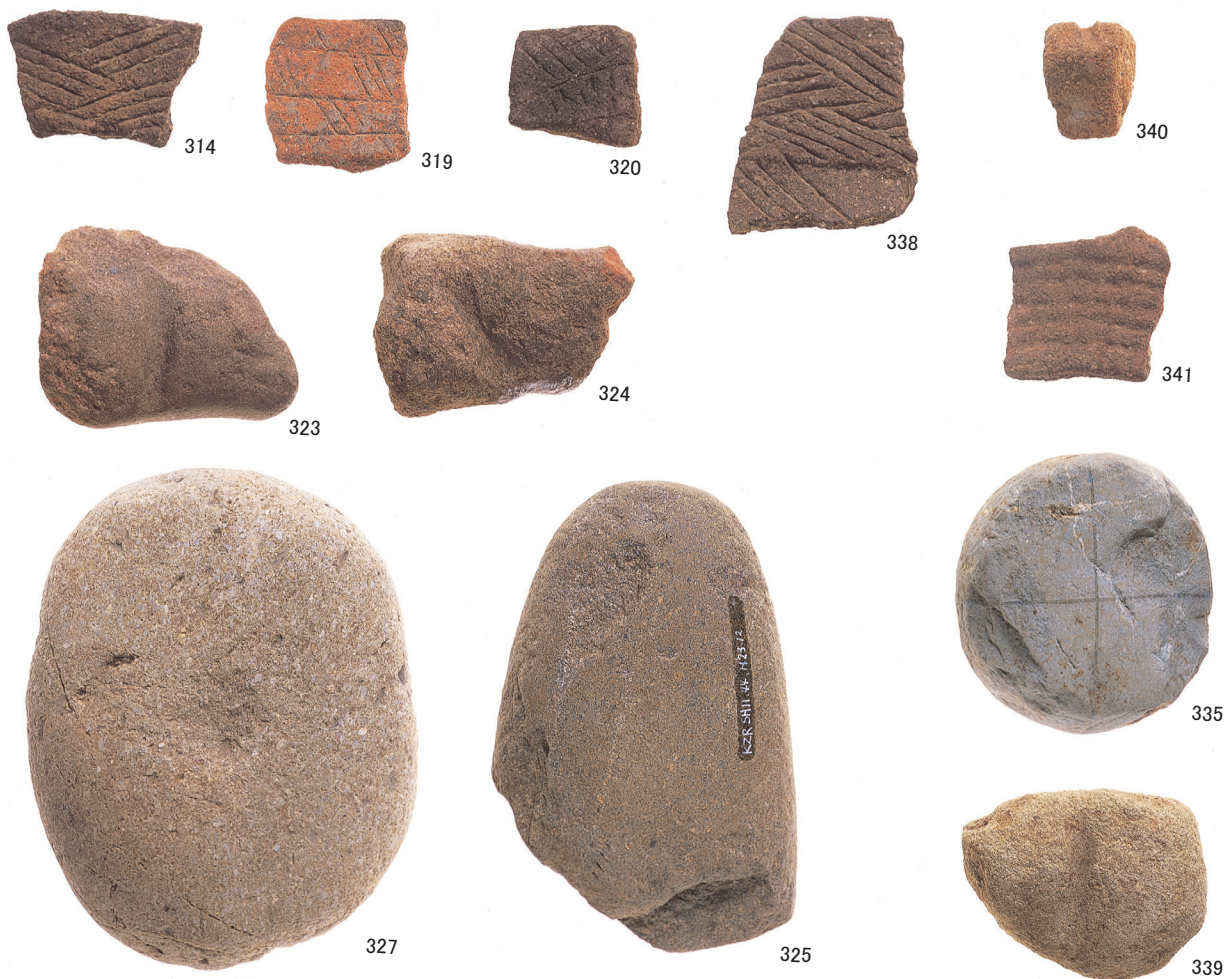


311

SH12 出土遺物



SH13 出土石器



SH13 出土遺物



SH14 出土遺物



SH15 出土遺物

图版 18



SH16 出土遺物



SH17 出土遺物



SH18 出土遺物



448

SH18 出土石器

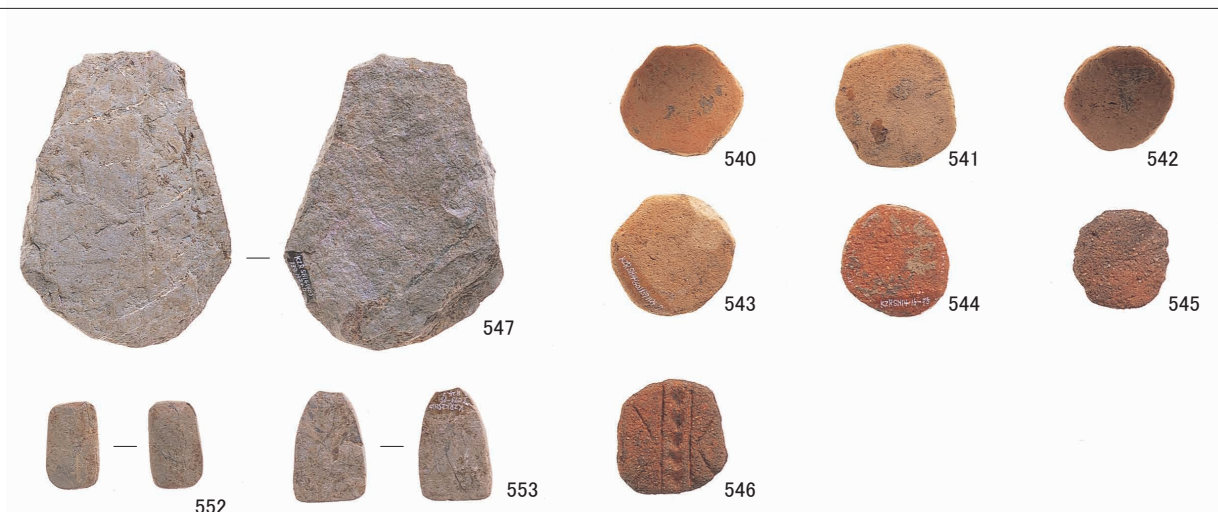


SH19 出土石器

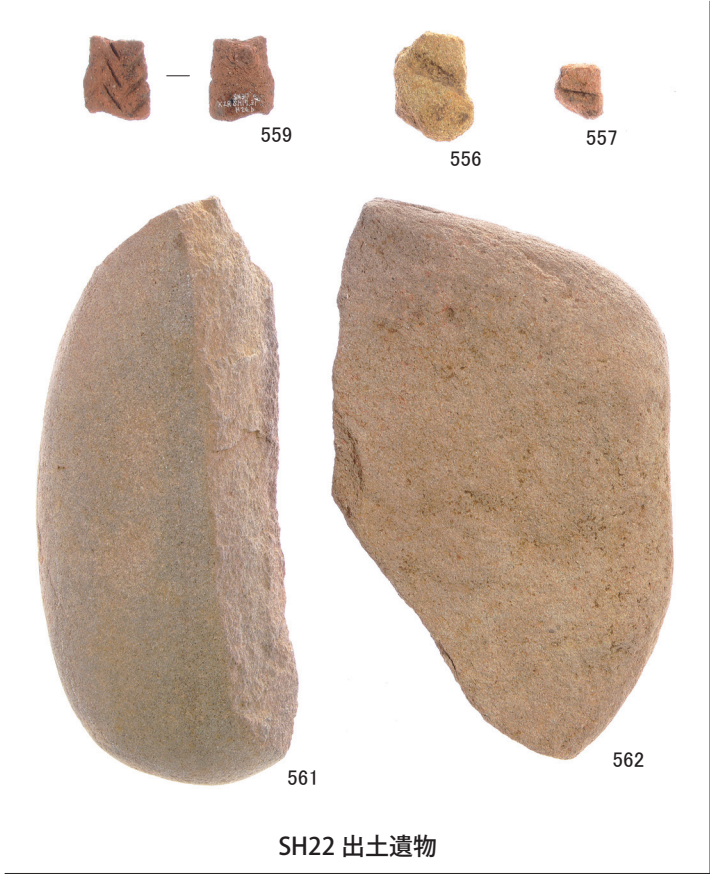


SH19 出土遺物

图版 22







图版 24



SH24 出土遺物



SH25 出土遺物



SH25 出土石器



SH26 出土遺物



SH 一括出土遺物



SK01 出土遺物



SK02 出土遺物



SK03 出土遺物



SK03 出土石器

图版 26



SK04 出土遺物



SK05 出土遺物



SK06 出土遺物



SK07 出土遺物



SK07 出土石器



SK12 出土遺物



SK14 出土遺物



SK16 出土遺物



SD06 出土遺物



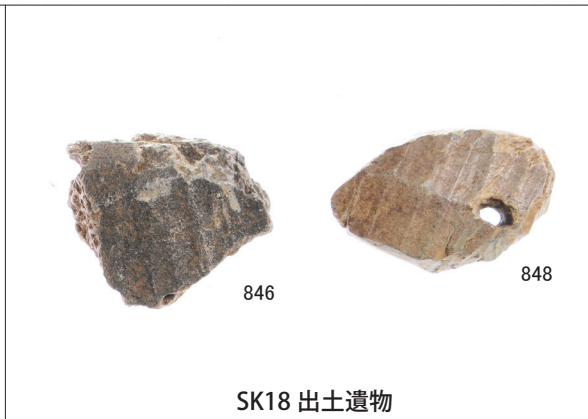
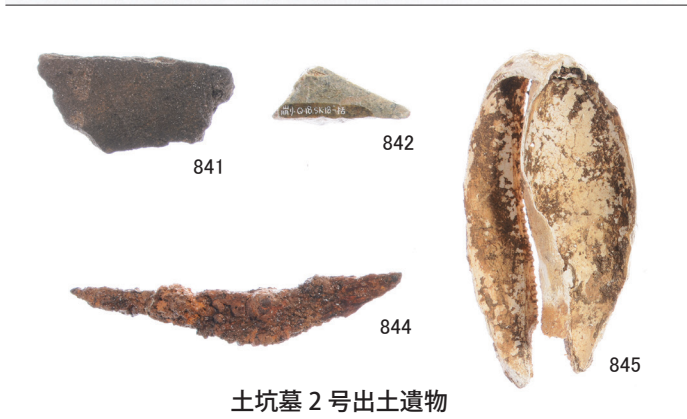
SD01 出土遺物

图版 28



802(SB03), 803(SB06), 804(SB07), 805(SB10), 807(SB18), 808·809(SB19), 812~814(SB21), 817·888(SB22), 820(SB27), 821(SB28), 818(SB26), 819(SB27), 823·829(SB38), 831·833(SB39), 836·837(SB40)

SB 出土遺物

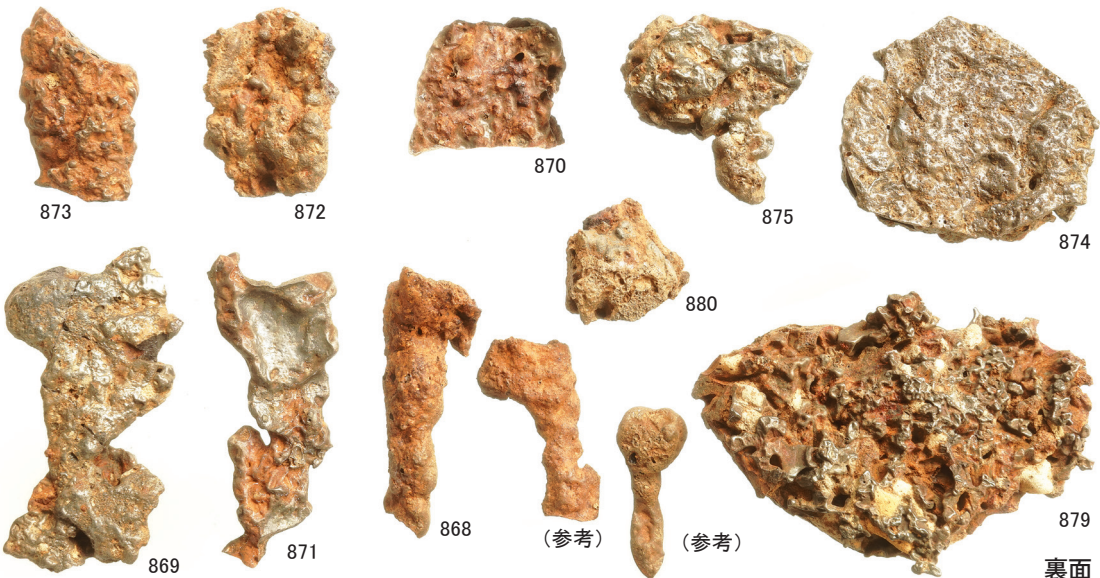




製鉄関連遺構 (SD17) 出土炉壁



表面



裏面

製鉄関連遺構 (SD17) 出土遺物 (1)





製鉄関連遺構 (SD17) 出土鉄滓



製鉄関連遺構 (SD17) 出土遺物 (2)



882



884



885



886



890



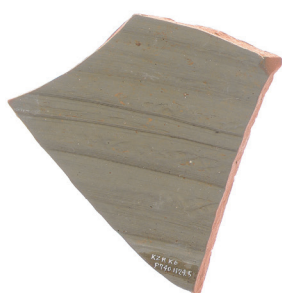
891



887



889



893



894

882(P964), 884(P85), 885(P1130), 886(P1100), 887(P1056), 889(P393), 890(P587), 891(P67), 893(P740), 894(P410)

ピット出土遺物 (1)

図版 32



895(P566), 896(P347), 897(P80), 898(P331), 899(P68), 900(P617), 901(P744), 902(P289), 903(P705),  
904(P340), 907・908(P331), 909(P1056), 910(P938), 911(P476), 912(P529), 918(P911), 920(P980),

ピット出土遺物(2)



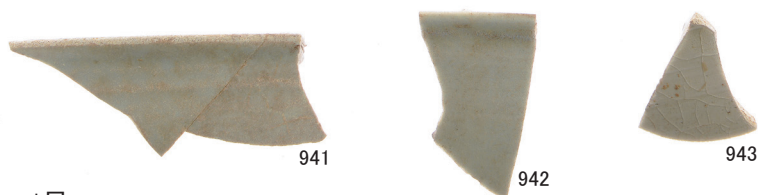
III-a 層



III-c 層



III-d 層



III-c·d 層



III-g 層



III-j 層



III-k 層

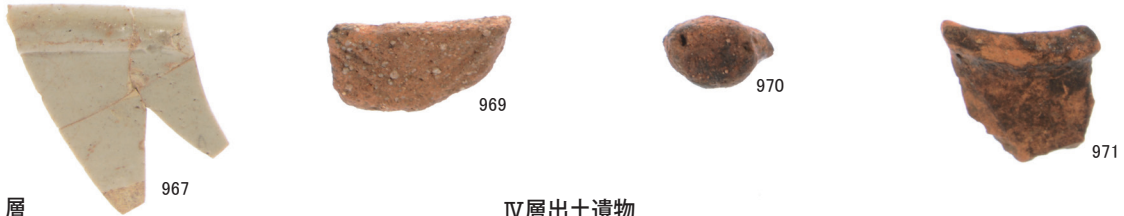


III層出土遺物

图版 34



IV-a 層

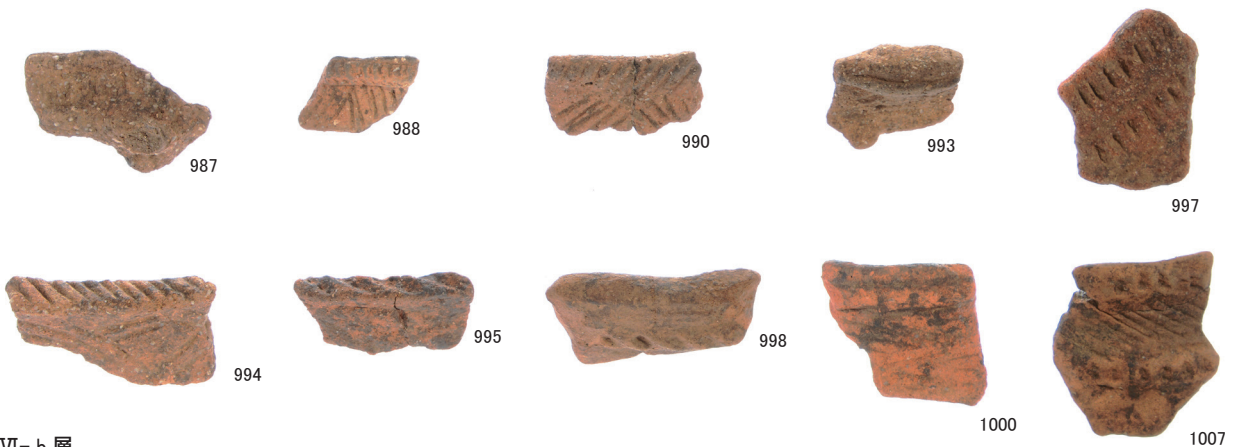


IV-b 層

IV層出土遺物



VI-a 層



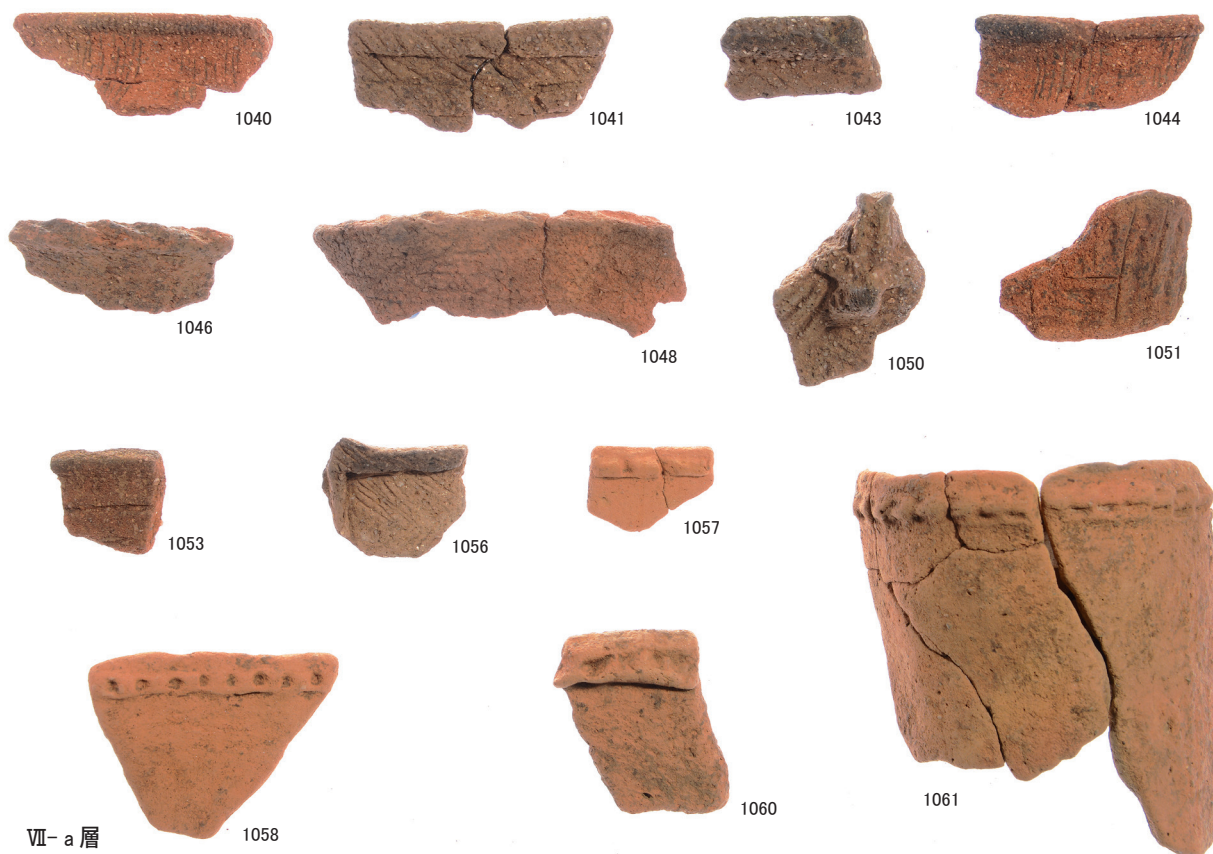
VI-b 層

VI層出土遺物 (1)



VI-b層

VI層出土遺物(2)



VII-a層

VII層出土土器(1)

图版 36



VII層出土土器(2)



VII層出土石器

# 報告書抄録

ふりがな	くんでいいせき							
書名	崩り遺跡							
副書名	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）手久津久地区に伴う埋蔵文化財発掘調査							
シリーズ名	喜界町埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	16							
編集者名	松原信之 野崎拓司 安武憲史							
編集機関	喜界町教育委員会							
所在地	〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746							
発行年月日	西暦2018年1月22日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
くんでいいせき 崩り遺跡	かごしまけんおおしまぐん 鹿児島県大島郡 きかいちょうおおあぎ 喜界町大字 てくづくあざくんでい 手久津久字崩り	465291	37-136	28° 17' 20"	129° 56' 17"	2009. 6. 10 ～ 2009. 11. 30	確認調査 200	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）手久津久地区
						2011. 6. 23 ～ 2012. 3. 19	本調査 4, 500	
						2012. 4. 3 ～ 2013. 3. 1	本調査 9, 306	
							計 14, 006	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
崩り遺跡	集落	縄文	竪穴状遺構27基、土坑16基、溝状遺構15条、	面縄前庭式、面縄東洞式、嘉徳ⅠA式、嘉徳Ⅱ式、松山式、市来式、面縄西洞式、犬田布式、石器、骨製品			調査後の遺跡については、製鉄関連遺構の広がる879㎡を保存し、残りは消滅している。	
		中世	掘立柱建物跡41棟、土坑墓2基、土坑15基、焼土跡9基、溝状遺構1条、ピット約1, 250基、畝状遺構35条、製鉄関連遺構（溝状遺構1条、土坑1基）	龍泉窯系青磁、白磁、褐釉陶器、カムイヤキ、滑石混入土器、石器、鞆の羽口、鉄製品、鉄滓、銅製品				
要約	<p>崩り遺跡は、喜界島南西部に位置する標高約23mの段丘上に所在する。畑地帯総合整備事業（担い手育成型）手久津久地区に伴い平成23～24年度に実施した本調査では、遺跡南側付近に縄文時代の遺構を検出し、中央付近と北側に中世の遺構を検出した。</p> <p>縄文時代の遺構は、竪穴状遺構や土坑、溝状遺構があり、遺構からは土器や石器・獣骨などが出土した。放射性炭素年代測定や土器型式から縄文時代後期～晩期に相当する遺構と考えられる。出土した土器は、主に面縄東洞式や嘉徳ⅠA式、嘉徳Ⅱ式土器があり、それに伴って松山式や市来式土器も出土した。また、石器については200点近くの有溝砥石をはじめ、特徴ある石器が出土している。遺構内から大量に見つかる石器や礫はすべて喜界島では産出しない石材と考えられ、これらの遺物からは当時の人々の海を介した頻繁な動きが見えてきている。</p> <p>中世の遺構では掘立柱建物跡や土坑墓、土坑、焼土跡、溝状遺構、畝状遺構を検出した。遺物は、11世紀末～12世紀頃と考えられる白磁やカムイヤキ、滑石製品などが遺跡中央付近の遺構から出土し、また遺跡北側では、14世紀後半頃～15世紀前半頃と考えられる龍泉窯系青磁やピロースクタイプ白磁碗などが出土した。これらの遺構からは、母屋・小屋・倉庫と考えられる建物のセット関係が確認でき、それに付随して焼土・土坑が作られている状況がうかがえた。これらの周囲には遺構の無い空間があることから、建物群に付随する庭や広場といった空間利用の可能性が考えられる。</p> <p>掘立柱建物跡などの遺構から少し離れた遺跡西側では、製鉄関連遺構が検出された。出土遺物から概ね11世紀～12世紀頃の遺構と考えられ、製鉄関連遺構の中世最南端の事例となった。この時期の南西諸島における製鉄の意義は大きく、今後喜界島の歴史的評価につながる重要な遺構として盛土保存された。</p>							

## あとがき

さとうきびが秋風に揺れ、ゆったりとした島時間が流れている中、崩り遺跡の発掘現場には怒濤の嵐が吹き荒れていた。調査期限に迫られ、現場を走り回る調査員と、それに答えようとしてくれる作業員。掘れば掘るほどよく分からないものが出てくるという喜界島の風潮は、この遺跡からも実感していた。掘り終われば消滅してしまう遺跡に対し、限りある時間でどれだけの情報を残せるかを考え続ける日々が続いた。これが、私の心に残る崩り遺跡発掘調査の思い出である。

想定以上の時間がかかったが、ようやく報告書の刊行までたどり着くことができた。ここに至るにあたり、本当にたくさんの人々のお世話になり、また、迷惑もかけてしまった。刊行期限が迫る中いつも心配してくださった上司、忍耐強く何度でも原稿に赤を入れてくださった先輩、発掘調査と刊行期限を最大限に考慮していただいた各機関の方々、「急ぎで」の言葉に答えてくださった発掘作業員、私の言葉足らずの指示をすべて理解し粛々と作業を進めてくださった整理事業員、このほかここで書き切れないすべての人に対し感謝の言葉しかない。発掘調査は一人ではできない、それを改めて実感した調査であった。

末筆となったが、本文中で紹介できなかった発掘作業員名と整理事業員名を以下に記し、感謝の気持ちを伝えたい。(松原)

### 発掘作業員

稲崎明和、井上多美子、上田菊乃、加島誠造、一眞章、勝田志津夫、川島嘉吉、川島誠治、川畑英二、菊地一、菊永秀子、木村タミエ、久保元子、黒田博之、幸田美和子、拵光子、栄博樹、佐藤正喜、重野光男、下島和彦、平靖之、高木松男、竹田一典、田村三津子、田向正一郎、筒井美枝、照玄一郎、輝幸枝、篤利一、俊山梅乃、豊田スエ子、永広海、中路隆之、中野幸男、元基治、林勇夫、藤田昌宏、藤山次男、麓真利子、堀裕則、前岡重加太、牧野美香、増田好明、増田安治、嶺啓一、宮城光雄、向井均、向井政代、村上一夫、基井安野、元山和子、盛光弘、森島理、吉富守、萬敏恭

### 整理事業員

恵畑まさみ、大岡あやの、太田清三、岡村ひとみ、酒井珠美、佐藤裕志、重田千賀子、重野常満、生正夫、瀧原勇、瀧元茂勝、長島純子、成田愛香、登早苗、林田園美、増田小百合、嶺田光夫、矢野俊子、吉内三雄、良岡涼子

喜界町埋蔵文化財発掘報告書 (16)

—畑地帯総合整備事業(担い手育成型)手久津久地区に伴う埋蔵文化財発掘報告書—

## 崩り遺跡 I 第2分冊

発行日 2018年1月22日

編集・発行 喜界町教育委員会  
〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746

印刷 株式会社 銀座コーポレーション  
〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2650-1